

平成22年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	石川県		市町村類型	1-2		指定団体等の指定状況		区分		平成22年度(千円)		平成21年度(千円)		区分		平成22年度(千円・%)		平成21年度(千円・%)	
								歳入総額	歳出総額	歳入総額	歳出総額	実質収支比率	経常収支比率	実質収支比率	経常収支比率				
市町村名	かほく市		地方交付税種地	2-3		財政健全化等	×	15,805,933	15,408,834	15,986,112	15,538,173	3.8	87.5	3.8	87.5	3.8	87.5	4.6	94.6
人口	22年国調(人)	34,651	産業構造	17年国調(人)	34,847	財源超過	×	397,099	447,939	447,939	15,970	(97.7)	(97.7)	(97.7)	(97.7)	(97.7)	(97.7)	(102.4)	(102.4)
	増減率(%)	-0.6		首都	×	23,492	近畿	×	373,607	431,969	431,969	9,751,265	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.52	0.52
住民基本台帳人口	23.03.31(人)	35,023		中部	○	-58,362	山振	×	108,277	108,277	108,277	0.27	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	20.9	20.9
	増減率(%)	-0.3		過疎	×	753,743	線上げ還金	×	3,015	3,015	3,015	80,439	-	-	-	-	-	-	-
面積(km ²)	64.76		第1次	450	491	低開発	×	695,381	695,381	695,381	191,731	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.3	13.3	
人口密度(人/km ²)	535		第2次	7,564	8,818	指数表選定	○	3,194,087	3,194,087	3,194,087	3,534,332	100.9	100.9	100.9	100.9	100.9	114.5	114.5	
世帯数(世帯)	11,084		第3次	42.1	47.2	標準財政需要額		6,901,733	6,901,733	6,901,733	6,851,906	-	-	-	-	-	-	-	
職員の状況						標準税収入額等		4,076,058	4,076,058	4,076,058	4,511,274	-	-	-	-	-	-	-	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	経常経費充当一般財源等	8,790,787	8,790,787	8,786,406	資金不足比率(※3)	-	-	-	-	-	-	
	市区町村長	1	8,360	一般職員	337	983,366	2,918	歳入一般財源等	11,765,226	11,765,226	11,337,774	-	-	-	-	-	-	-	
	副市区町村長	1	6,650	うち消防職員	53	151,156	2,852	地方債現在高	25,055,964	25,055,964	24,983,448	-	-	-	-	-	-	-	
	収入役	-	-	うち技能労務職員	13	30,264	2,328	うち公的資金	11,814,023	11,814,023	11,663,969	-	-	-	-	-	-	-	-
	教育長	1	6,080	教育公務員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	1,276,127	1,276,127	1,082,829	-	-	-	-	-	-	-	-
	議会議長	1	4,180	臨時職員	-	-	-	収益事業収入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	議会副議長	1	3,560	合計	337	983,366	2,918	土地開発基金現在高	144,994	144,994	144,988	-	-	-	-	-	-	-	-
	議会議員	16	3,370	ラスバイレス指数	-	-	-	積立金	2,631,176	2,631,176	1,667,433	-	-	-	-	-	-	-	-
								現在高	15,375	15,375	15,361	-	-	-	-	-	-	-	-
									1,456,801	1,456,801	1,571,069	-	-	-	-	-	-	-	-

(注釈)
 ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※3: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				歳出の状況(単位:千円・%)							
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等		
地方税	4,059,737	25.7	3,720,001	41.3	普通税	3,720,001	91.6	48,512	議会費	153,271	1.0	-	153,271		
地方譲与税	129,766	0.8	129,766	1.4	法定普通税	3,720,001	91.6	48,512	総務費	2,675,818	17.4	245,223	2,231,692		
利子割交付金	17,663	0.1	17,663	0.2	市町村民税	1,756,755	43.3	48,512	民生費	4,684,326	30.4	459,044	2,521,135		
配当割交付金	5,458	0.0	5,458	0.1	個人均等割	52,081	1.3	-	衛生費	1,174,246	7.6	38,843	1,032,991		
株式等譲渡所得割交付金	2,175	0.0	2,175	0.0	所得割	1,331,107	32.8	-	労働費	53,552	0.3	145	27,012		
地方消費税交付金	319,469	2.0	319,469	3.5	法人均等割	87,334	2.2	-	農林水産業費	377,373	2.4	88,930	248,595		
ゴルフ場利用税交付金	31,648	0.2	31,648	0.4	法人税割	286,233	7.1	48,512	商工費	170,214	1.1	2,766	127,088		
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,711,586	42.2	-	土木費	1,876,186	12.2	912,832	1,361,040		
自動車取得税交付金	37,070	0.2	37,070	0.4	うち純固定資産税	1,711,586	42.2	-	消防費	512,933	3.3	66,340	465,034		
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	64,378	1.6	-	教育費	1,357,703	8.8	206,734	983,855		
地方特例交付金	56,541	0.4	56,541	0.6	市町村たばこ税	187,282	4.6	-	災害復旧費	-	-	-	-		
児童手当及び子ども手当特例交付金	28,621	0.2	28,621	0.3	鉦産税	-	-	-	公債費	2,373,212	15.4	-	2,216,414		
減収補填特例交付金	27,920	0.2	27,920	0.3	特別土地保有税	-	-	-	諸支費	-	-	-	-		
地方交付税	5,254,171	33.2	4,633,886	51.5	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-		
普通交付税	4,633,886	29.3	4,633,886	51.5	目的税	339,736	8.4	-	歳出合計	15,408,834	100.0	2,020,857	11,368,127		
特別交付税	620,285	3.9	-	-	法定目的税	339,736	8.4	-	性質別歳出の状況(単位:千円・%)						
(一般財源計)	9,913,698	62.7	8,953,677	99.5	入湯税	-	-	-	区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	
交通安全対策特別交付金	4,478	0.0	4,478	0.0	事業所税	-	-	-	義務的経費計	7,055,628	45.8	5,411,010	5,332,102	53.1	
分担金・負担金	62,026	0.4	-	-	都市計画税	339,736	8.4	-	人件費	2,681,143	17.4	2,427,701	2,356,233	23.5	
使用料	430,203	2.7	12	0.0	水利地益税等	-	-	-	うち職員給	1,742,377	11.3	1,503,412	-	-	
手数料	17,501	0.1	-	-	法定外目的税	-	-	-	扶助費	2,001,274	13.0	766,896	759,456	7.6	
国庫支出金	1,551,853	9.8	-	-	旧法による税	-	-	-	公債費	2,373,211	15.4	2,216,413	2,216,413	22.1	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	合計	4,059,737	100.0	48,512	内元利償還金	2,373,181	15.4	2,216,383	2,216,383	22.1	
都道府県支出金	926,789	5.9	-	-	区分	平成22年度	平成21年度		訳一時借入金利子	30	0.0	30	30	0.0	
財産収入	53,617	0.3	35,891	0.4	徴収率	97.8	91.3	97.8	91.7	6,332,349	41.1	5,332,038	3,458,685	34.4	
寄附金	9,310	0.1	-	-	(%)	98.9	94.9	98.5	94.7	2,128,171	13.8	1,457,206	1,210,739	12.1	
繰入金	146,569	0.9	-	-	計	96.7	87.9	97.1	88.9	49,407	0.3	43,058	43,058	0.4	
繰越金	237,939	1.5	-	-	公営事業等への繰出					1,306,374	8.5	1,192,424	974,982	9.7	
諸収入	401,150	2.5	5,781	0.1	合計	2,035,807	実質収支	80,282		677,872	4.4	677,872	677,315	6.7	
地方債	2,050,800	13.0	-	-	下水道	887,347	再差引収支	-151,498		2,005,549	13.0	1,876,593	1,229,906	12.2	
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	上水道	30,258	加入世帯数(世帯)	4,397		782,496	5.1	762,557	-	-	
うち臨時財政対策債	1,041,200	6.6	-	-	工業用水道	-	被保険者数(人)	8,156		60,352	0.4	200	-	-	
歳入合計	15,805,933	100.0	8,999,839	100.0	交通	-	交通	91		前年度繰上充用金	-	-	-	-	
					国民健康保険	355,927	被保険者	111		投資的経費計	2,020,857	13.1	625,079	-	-
					その他	762,275	1人当り	302		うち人件費	46,813	0.3	46,713	-	-
										普通建設事業費	2,020,857	13.1	625,079	-	-
										うち補助	294,952	1.9	14,013	-	-
										うち単独	1,591,115	10.3	592,245	-	-
										災害復旧事業費	-	-	-	-	
										失業対策事業費	-	-	-	-	
										歳出合計	15,408,834	100.0	11,368,127	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成22年度 石川県かほく市

一般会計等の財政状況（単位：百万円）

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの 繰入金	地方債 現在高	備考
1 一般会計	15,664	15,276	388	365	147	25,023	
2 かほく市土地取得特別会計	5	2	3	3	0	0	
3 かほく市宮バス事業特別会計	21	17	4	4	6	0	
4 かほく市墓地特別会計	37	37	0	0	0	33	
5 かほく市ケーブルテレビ事業特別会計	94	92	2	2	2	0	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計一般会計等	15,821	15,424	397	374		25,056	実質赤字額

公営企業会計等の財政状況（単位：百万円）

会計名	取収益 (歳入)	総費用 (歳出)	経損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの 繰入金	企業債（地方債） 現在高	左のうち 一般会計等 繰入金見込額	資金不足比率	備考
1 かほく市国民健康保険特別会計	3,531	3,451	80	80	349	0	0		
2 かほく市老人保健特別会計	7	7	0	0	0	0	0		
3 かほく市後期高齢者医療特別会計	298	298	0	0	98	0	0		
4 かほく市介護保険特別会計	2,446	2,425	21	21	356	0	0		
5 かほく市水道事業会計	632	550	83	468	30	2,998	6		法適用企業
6 かほく市下水道事業特別会計	1,860	1,813	47	47	841	17,605	12,869		法非適用企業
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
83									
84									
85									
86									
87									
88									
89									
90									
91									
92									
93									
94									
95									
96									
97									
98									
99									
100									
計公営企業会計等				616		20,603	12,875		連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況（単位：百万円）

一部事務組合等名	取収益 (歳入)	総費用 (歳出)	経損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの 繰入金	企業債（地方債） 現在高	左のうち 一般会計等 繰入金見込額	備考
1 河北都市広域事務組合	2,318	2,269	49	49	170	5,436	2,304	
2 石川県市町村職員退職手当組合	5,560	5,213	347	347	-	-	-	
3 石川県市町村消防団員等公務員共済組合	168	165	3	3	-	-	-	
4 石川県後期高齢者医療連合会（一般会計）	506	495	10	10	2	-	-	
5 石川県後期高齢者医療連合会（後期高齢者医療特別会計）	133,707	132,208	1,499	1,499	2,276	-	-	
6 石川県市町村消防員じゃつ会組合	5	1	4	4	-	-	-	
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計一部事務組合等				1,911		5,436	2,304	

公債費負担の状況（千円・%）					将来負担の状況（千円・%）										
区分	実質公債費比率（千円・%）				区分	将来負担比率（千円・%）					内訳	将来負担比率（千円・%）			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比		平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比	平成20年度		平成21年度	平成22年度	分母比	
元利償還金	1,757,246	2,474,539	2,373,181	30.8	将来負担額	24,921,590	24,983,449	25,055,964	325.4	PF1事業に係るもの	-	-	-	-	
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	債務負担行為に基づく支出予定額	375,687	375,988	378,016	4.9	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	729,846	737,254	702,218	9.1	公営企業債等繰入金見込額	12,956,226	12,164,141	12,875,424	167.2	国営土地改良事業に係るもの	-	-	-	-	
組合等が起した地方債の元利償還金に対する繰入金等	314,828	370,629	373,069	4.8	組合等負担等見込額	3,033,268	2,687,594	2,304,482	29.9	森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	2,400	2,400	2,400	0.0	退職手当負担見込額	3,521,992	3,413,483	3,309,051	43.0	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	
一時繰入金の利子	72	25	-	-	設立法人等の負債額等負担見込額	432,136	278,928	310,660	4.0	依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	-	
合計	(ア)	2,804,392	3,584,847	3,450,868	連結実質赤字額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	4,800	2,400	2,400	0.0	
内訳	平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	
PF1事業に係るもの	-	-	-	-	充分可能財源等	(エ)	45,240,899	43,903,581	44,233,597	571.9	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	充当可能基金	2,031,660	2,172,528	3,134,079	40.7	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-	
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能特定繰入金	5,946,094	5,715,859	5,532,911	71.9	かほく市下水道事業特別会計	12,950,070	12,158,053	12,869,428	167.2	
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	基準財政需要額算入見込額	27,209,425	27,535,558	27,792,762	361.0	かほく市水道事業会計	6,157	6,088	5,996	0.1	
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	合計	(オ)	35,187,179	35,423,945	36,459,752	468.1	企業債等繰入金見込額	-	-	-	-
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	将来負担比率(エ)-(オ)/(イ)-(ウ)×100	138.1	114.5	100.9	100.9	公債・三セク等	-	-	-	-	
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-	将来負担比率(エ)-(オ)/(イ)-(ウ)×100	138.1	114.5	100.9	100.9	地方道債公社に係る将来負担額	-	-	-	-	
その他上記に準ずるもの	-	-	-	-	将来負担比率(エ)-(オ)/(イ)-(ウ)×100	138.1	114.5	100.9	100.9	土地開発公社に係る将来負担額	205,880	191,734	177,916	2.3	
利子補給に係るもの	2,400	2,400	2,400	0.0	将来負担比率(エ)-(オ)/(イ)-(ウ)×100	138.1	114.5	100.9	100.9	その他第三セクター等に係る将来負担額	226,256	87,194	132,744	1.7	
標準財政規模	(イ)	9,145,101	9,408,116	9,751,265											
算入公債費等の額	(ウ)	1,867,008	2,002,823	2,052,341											
分母	(イ)-(ウ)	7,278,093	7,405,293	7,698,924											
実質公債費比率	(ア)/(イ)-(ウ)×100	12.9	14.9	12.6											
将来負担比率	(オ)/(イ)-(ウ)×100	14.4	13.3	13.4											

健全化判断比率	平成22年度(再掲)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	13.38	20.00
連結実質赤字比率	-	18.38	35.00
実質公債費比率	13.4	25.0	35.0
将来負担比率	100.9	350.0	-

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は繰立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。
 ※実質公債費比率の(ア)-(ウ)は特定財源の額を控除している。

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支障の状況（単位：百万円）

地方公社・第三セクター等名	経常損益	経常又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 積立保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
1 七尾観光株式会社	-4	15	50	0	0	0	263	79	
2 かほく市土地開発公社	5	152	10	0	0	693	0	178	
3 かほく市公共施設管理公社	0	40	40	61	0	0	0	0	
4 株式会社高松レストハウス	10	-5	12	0	0	0	0	0	

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成22年度

石川県かほく市

人口	35,023人	(H23.3.31現在)	実収赤字比率	-%
面積	64.76	km ²	連結実収赤字比率	-%
歳入	15,805,933	千円	実質公債費比率	13.4%
歳出	15,408,834	千円	将来負担比率	100.9%
実収支	373,607	千円		
標準財政規模	9,751,265	千円		
地方債現在高	25,055,964	千円		

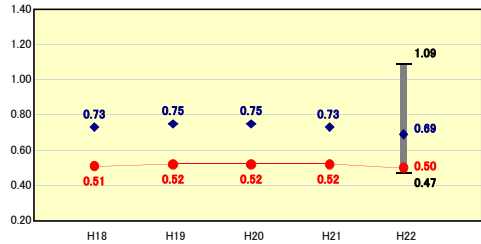


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.50]

類似団体内順位 17/18 全国平均 0.53 石川県平均 0.54

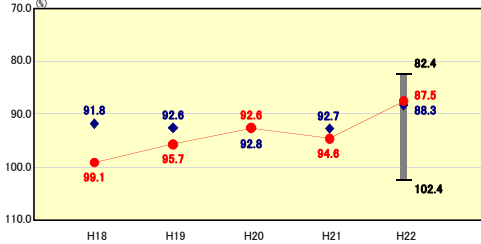


財政力指数の分析欄
 税収の伸び悩みにより類似団体平均より0.19ポイント下回っている。今後は、積極的な定住促進事業の展開や企業誘致などにより歳入の確保を図り、また、第2次定員適正化計画(H22～26までの5年間で約9%減(職員数))等の着実な実施により財政健全化に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [87.5%]

類似団体内順位 8/18 全国平均 89.2 石川県平均 89.9

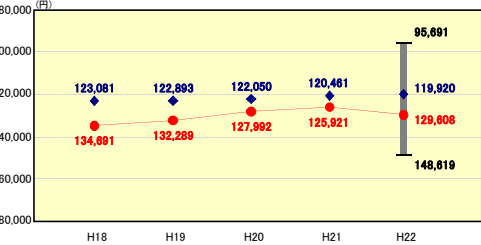


経常収支比率の分析欄
 年々増加する扶助費や合併に伴い実施した大型事業に係る公債費は増加しているが、人件費や補助費は減少しており、全体では前年度比7.1ポイントの改善となった。しかし、経常一般財源の根幹である市税は減少している上に、高齢化等による社会保障費の増のほか、下水道事業への繰出しや公債費の負担の増加が見込まれるため、人件費の抑制を図るなど、義務的経費の削減を行い、経常収支比率の抑制を図る。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [129,608円]

類似団体内順位 12/18 全国平均 114,985 石川県平均 110,495

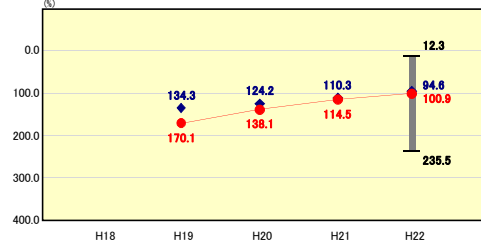


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 類似団体に比べ高い要因は、主に人件費である。これは、市内の保育園を全て直営で行っているため、今後は保育園の統廃合による効率的な運営、指定管理者制度の活用や民営化を推進しコストの低減を図っていく必要がある。また、合併により、施設の管理や事務体制(支所体制)の非効率となっている部分の整理・見直しを図り、経費の抑制に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [100.9%]

類似団体内順位 10/18 全国平均 79.7 石川県平均 125.6

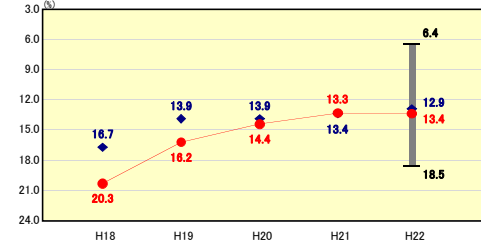


将来負担比率の分析欄
 合併(平成15年度)からの新市基盤整備のための大型事業(中学校改築・ケーブルテレビ整備及び総合保育園建設等)により、歳出における公債費は増加しているが、合併特例債など交付税措置の大きい起債を活用し、実質的負担の増加を抑制している。類似団体平均との比較では6.3ポイント高いが、前年度に比べ13.6ポイント改善している。今後も事業の「選択と集中」により優先順位を明確にし、必須の事業について可能な限り有利な起債を活用することや第三セクターの見直しを推進することで、将来負担の軽減を図る。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [13.4%]

類似団体内順位 9/18 全国平均 10.5 石川県平均 13.9

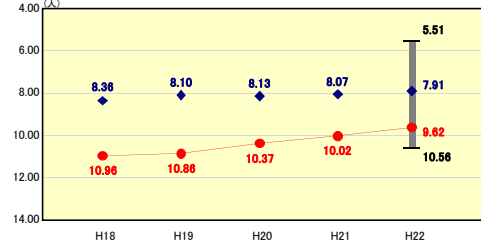


実質公債費比率の分析欄
 合併以前から旧町ごとに下水道事業を積極的に整備推進してきたため、整備率が高い反面、下水道事業への公債費繰出金(基準外)が多額となっている。しかし、合併後の大型事業には合併特例債などの有利な市債を活用しており、それらの元利償還金の割合が増加しているため、実質公債費比率は改善傾向にある。なお、類似団体平均と比較すると0.5ポイント高い結果となっている。今後も下水道使用料の見直しや効率的な経営手法の導入により、繰出金の抑制を図ると同時に、一般会計においても繰上償還の実施や、有利な起債の活用により指標の改善に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [9.62人]

類似団体内順位 15/18 全国平均 7.24 石川県平均 7.41

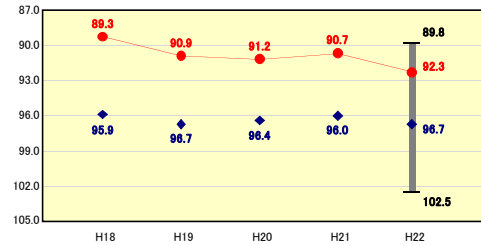


人口千人当たり職員数の分析欄
 定員適正化計画の実施により、改善傾向にあるが、類似団体平均に比べ1.71人上回っている。この主な要因は、市内保育園を全て直営で行っているため、今後は保育園の統廃合・民営化など、各施設の効率的な運営により定員適正化計画の着実な実施に努める。

給与水準(国との比較)

ラスパイレズ指数 [92.3]

類似団体内順位 3/18 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3



ラスパイレズ指数の分析欄
 類似団体平均を4.4ポイント下回っている。今後も、管理職手当の削減や特殊勤務手当の見直しなど、給与全体の削減に引き続き努める。

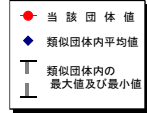
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

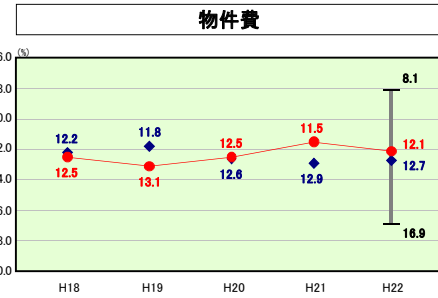
石川県かほく市

経常収支比率の分析

人面	口積	35,023	人(H23.3.31現在)	実	赤	比	率	-	%
産入	積額	64.76	k㎡	運	實	赤	字	比	率
産出	総額	15,805,933	千円	結	實	赤	字	比	率
実収	支	15,408,834	千円	算	公	債	費	比	率
標準	規	373,607	千円	得	来	負	担	比	率
地方	現	9,751,265	千円	市	町	村	類	型	
債	高	25,055,964	千円	(年	度	毎)	
				H18	I-2	H19	I-2	H20	I-2
				H21	I-2	H22	I-2		

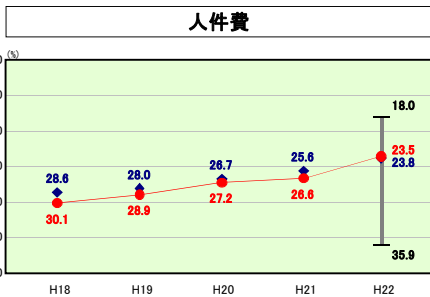


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



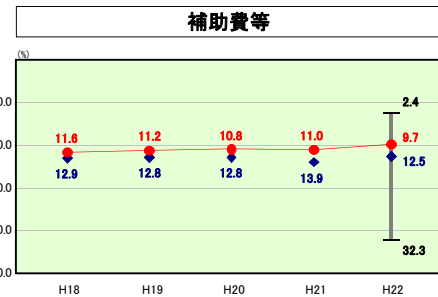
類似団体内順位 7/18 全国平均 12.8 石川県平均 12.4

物件費の分析欄
物件費に係る経常収支比率は、平成21年度までは低下傾向にあったが燃料費や光熱水費等の単価の上昇、電算システム更新に伴う保守委託費の増加、除雪委託料の増加のため、平成22年度では0.6%増の12.1%となった。



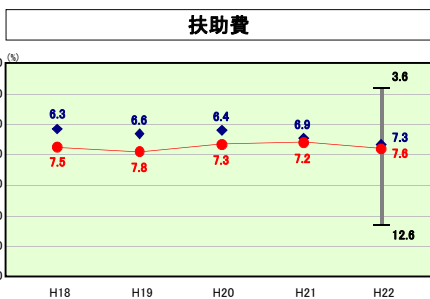
類似団体内順位 9/18 全国平均 25.1 石川県平均 19.6

人件費の分析欄
定員適正化計画の実施により改善傾向にあり、平成22年度においては、23.5%と類似団体平均を0.3%下回った。今後も保育園の統合をはじめ、施設の効率的な運営により、定員適正化計画を着実に実施し、コストの削減を図る。



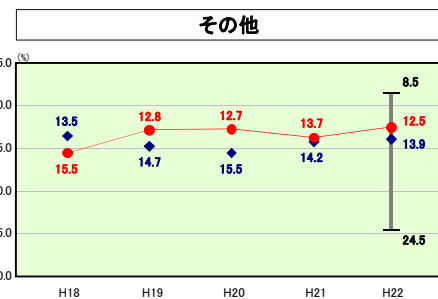
類似団体内順位 8/18 全国平均 10.1 石川県平均 14.0

補助費等の分析欄
広域事務組合負担金等の減少により、前年度に比べ1.3%低下した。類似団体平均との比較でも2.8%下回っているが、各種団体等への補助金については、必要性・効果を検証し可能な限り終期を設定していく方針である。



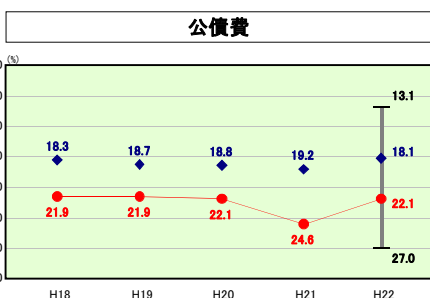
類似団体内順位 11/18 全国平均 10.4 石川県平均 8.8

扶助費の分析欄
生活保護費の増加等により、上昇傾向にあり、平成22年度においては類似団体平均を0.3%上回っている。資格審査等の適正化や就労支援等により、上昇傾向に歯止めをかけるよう努める。



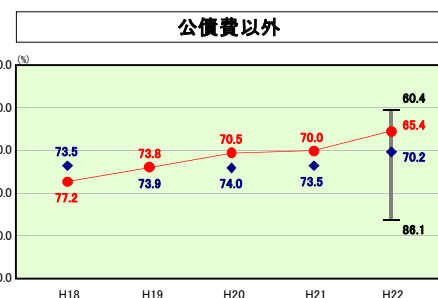
類似団体内順位 8/18 全国平均 11.8 石川県平均 11.5

その他の分析欄
介護給付の増加による介護保険特別会計への繰入金、国民健康保険特別会計への事務費等の繰入金が増加したが、下水道事業特別会計への基準内繰出(償還額の減)の減少により全体では微減となった。下水道事業については、包括民間委託の導入等により維持管理経費など運営管理にかかる経費削減を図るとともに、国民健康保険特別会計においても保険料の適正化を図ることにより普通会計の負担額を減らしていくよう努める。



類似団体内順位 14/18 全国平均 19.0 石川県平均 23.8

公債費の分析欄
合併(平成15年度)からの新市基盤整備のための大型事業(中学校改築・ケーブルテレビ整備及び統合保育園建設等)により、歳出における公債費は増加しており、類似団体平均を4.0%上回っている。公債費のピークは平成30年度となると見込まれるが、合併特例債など交付税措置のある有利な起債の活用により実質的な負担は抑制しており、今後も「選択と集中」により優先順位を明確にし事業を実施する。



類似団体内順位 3/18 全国平均 70.2 石川県平均 66.3

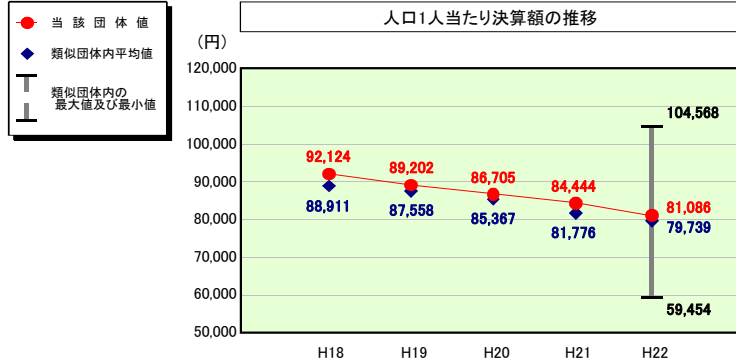
公債費以外の分析欄
主に人件費の減少による下降傾向が、公債費以外の経常収支比率の下降に反映されており、今後も行政改革の着実な実施により経費全体を抑制していく。限られた財源の中で行政サービスの水準を維持・向上していくため、事業評価システムを有効活用し、合理的で効果的な行政運営を取り組む。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

石川県かほく市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



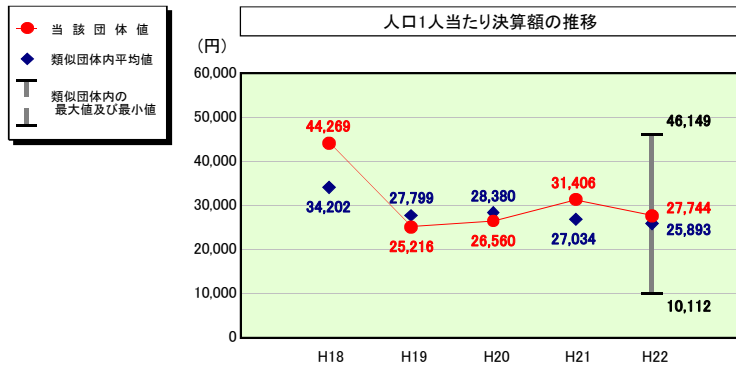
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	2,681,143	76,554	71,303	7.4
賃金 (物件費)	311,726	8,901	6,523	36.5
一部事務組合負担金 (補助費等)	113,740	3,248	5,605	▲42.1
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	405	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	52,696	1,505	3,112	▲51.6
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	46,813	1,337	1,273	5.0
▲退職金	▲366,258	▲10,458	▲8,482	23.3
合計	2,839,860	81,086	79,739	1.7

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	9.62	7.91	1.71
ラスパイレース指数	92.3	96.7	▲4.4

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

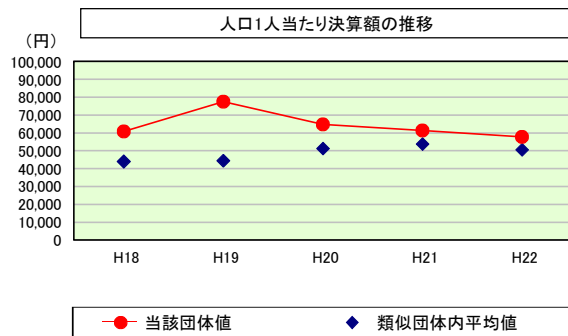


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,373,181	67,761	49,514	36.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	22	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	702,218	20,050	21,496	▲6.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	373,069	10,652	3,719	186.4
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	2,400	69	492	▲86.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	9	-
▲特定財源の額	▲426,845	▲12,188	▲7,349	65.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲2,052,341	▲58,600	▲42,009	39.5
合計	971,682	27,744	25,893	7.1

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

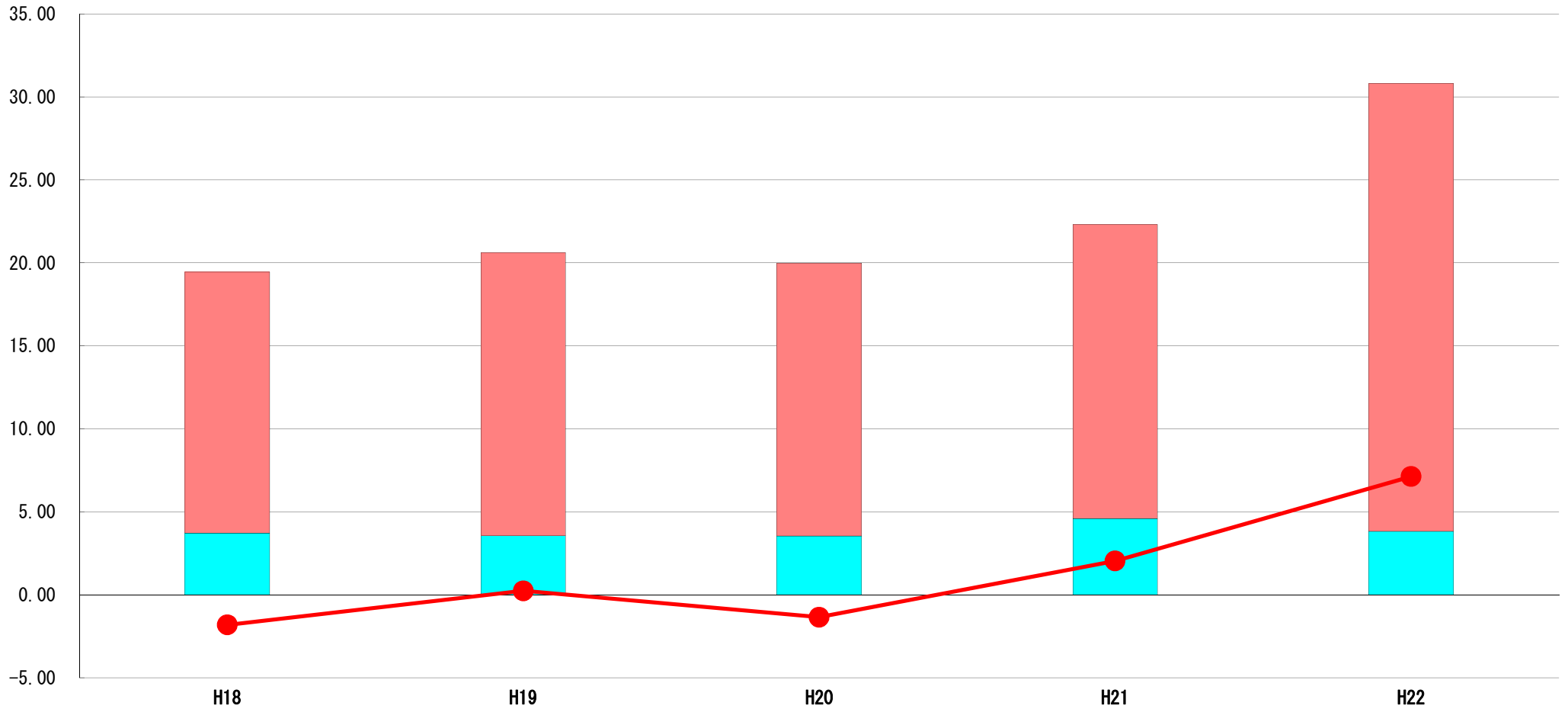
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H18	2,151,020	60,768	▲74.2	44,014	▲6.1	▲68.1
うち単独分	1,771,019	50,033	▲69.5	23,976	▲15.5	▲54.0
H19	2,733,707	77,541	▲27.6	44,373	0.8	26.8
うち単独分	1,372,009	38,917	▲22.2	21,732	▲9.4	▲12.8
H20	2,286,854	64,796	▲16.4	51,197	15.4	▲31.8
うち単独分	1,877,679	53,203	▲36.7	29,414	35.3	1.4
H21	2,156,832	61,370	▲5.3	53,670	4.8	▲10.1
うち単独分	1,380,182	39,271	▲26.2	27,544	▲6.4	▲19.8
H22	2,020,857	57,701	▲6.0	50,545	▲5.8	▲0.2
うち単独分	1,591,115	45,431	▲15.7	28,740	4.3	11.4
過去5年間平均	2,269,854	64,435	▲14.9	48,760	1.8	▲16.7
うち単独分	1,598,401	45,371	▲13.1	26,281	1.7	▲14.8

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成22年度

石川県かほく市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H18	H19	H20	H21	H22
 財政調整基金残高		15.72	17.05	16.45	17.72	26.98
 実質収支額		3.73	3.57	3.54	4.59	3.83
 実質単年度収支		▲ 1.81	0.24	▲ 1.35	2.04	7.13

分析欄

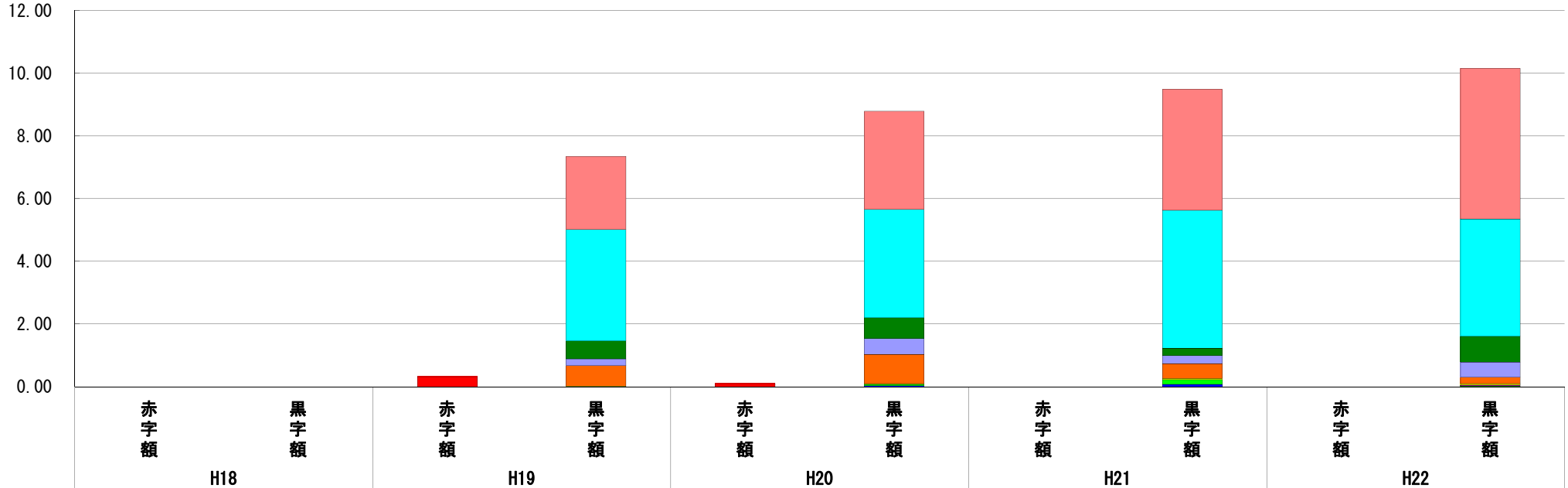
行財政改革の推進や歳出予算の執行抑制による余剰金については、合併特例期間終了後を見据えて積極的に財政調整基金に積み立てている。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成22年度

石川県かほく市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H18	H19	H20	H21	H22
かほく市水道事業会計		-	2.33	3.13	3.85	4.80
一般会計		-	3.55	3.46	4.40	3.74
かほく市国民健康保険特別会計		-	0.58	0.66	0.24	0.82
かほく市下水道事業特別会計		-	0.21	0.51	0.26	0.48
かほく市介護保険特別会計		-	0.66	0.93	0.46	0.21
かほく市営バス事業特別会計		-	0.02	0.02	0.04	0.04
かほく市土地取得特別会計		-	0.00	0.00	0.00	0.04
かほく市ケーブルテレビ事業特別会計		-	-	0.04	0.15	0.02
その他会計（赤字）		-	▲ 0.32	▲ 0.10	-	-
その他会計（黒字）		-	0.00	0.04	0.08	0.00

分析欄

平成21年度以降は、全会計で黒字となっており、連結実質赤字比率は算定されていない。今後も、各会計において健全な運営を継続していく。

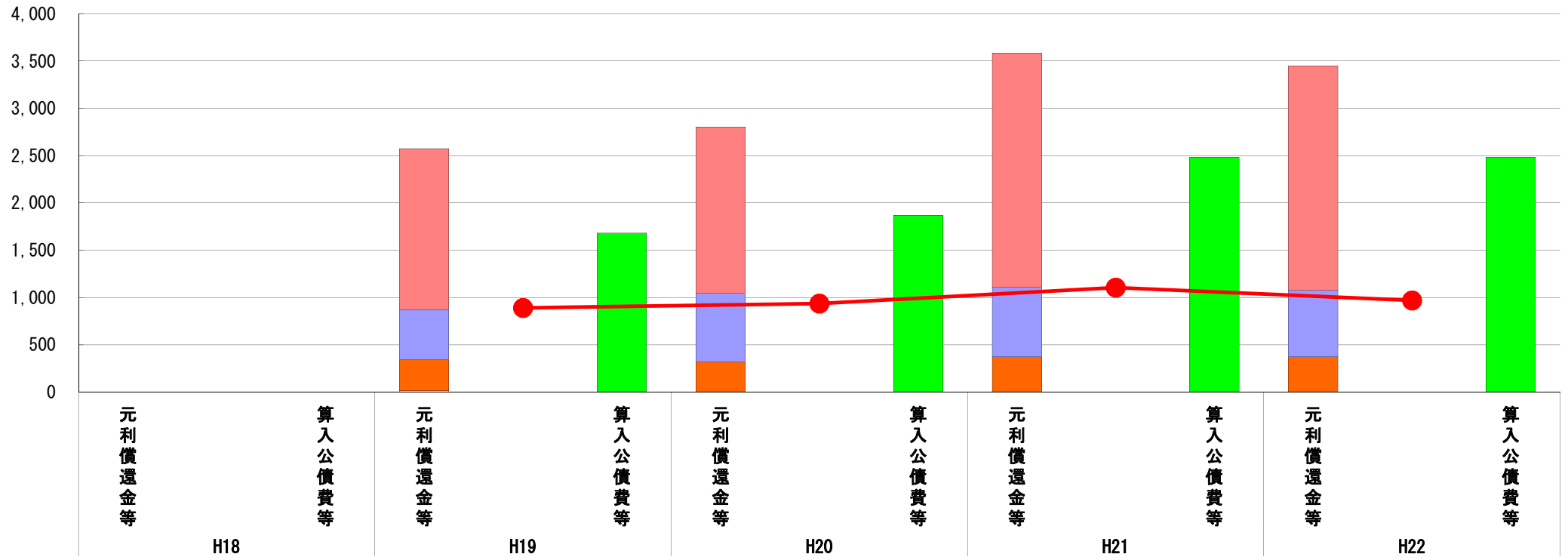
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

石川県かほく市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金	-	1,702	1,757	2,475	2,373	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	530	730	737	702	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	326	315	371	373	
	債務負担行為に基づく支出額	-	14	2	2	2	
	一時借入金利子	-	0	0	0	-	
算入公債費等 (B)	算入公債費等	-	1,682	1,867	2,481	2,480	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	890	937	1,104	970	

分析欄

元利償還金は合併特例債や臨時財政対策債等の償還額の増加に伴い増加しているが、同時に交付税算入額も増加していくこととなり、実質公債費比率の分子は横ばいとなっている。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

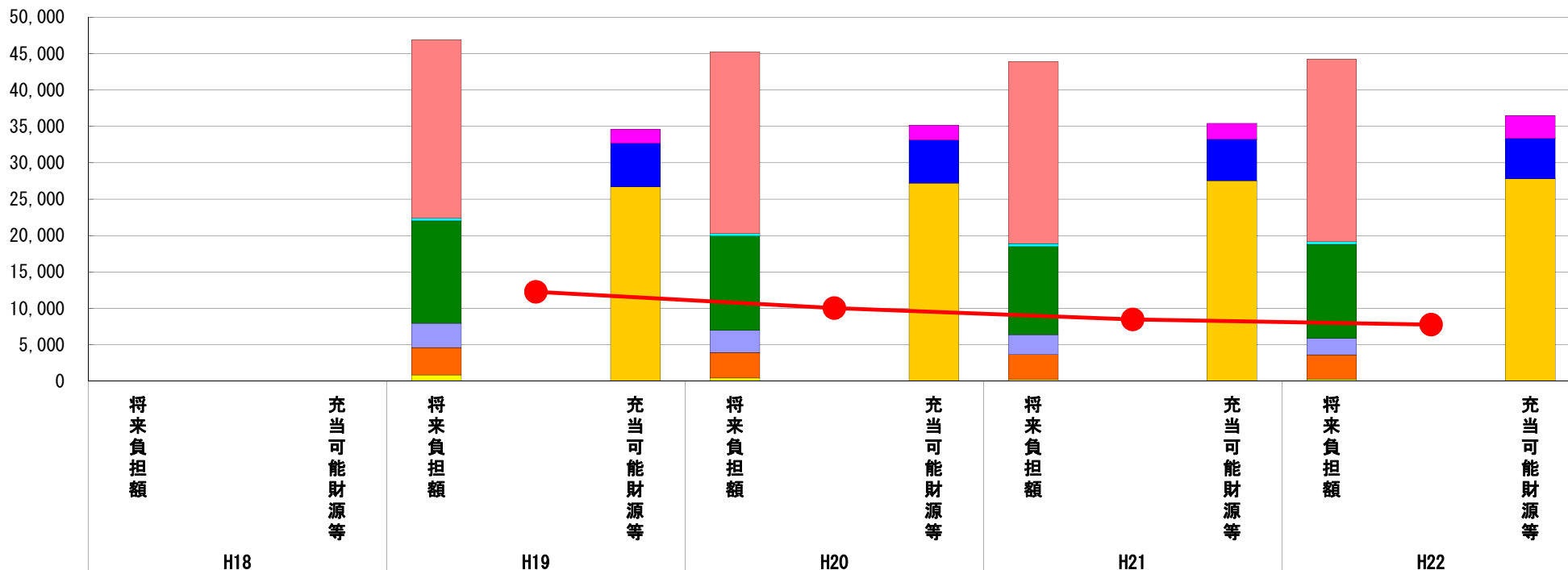
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

石川県かほく市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		-	24,502	24,922	24,983	25,056
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	367	376	376	378
	公営企業債等繰入見込額		-	14,045	12,956	12,164	12,875
	組合等負担等見込額		-	3,354	3,033	2,688	2,304
	退職手当負担見込額		-	3,745	3,522	3,413	3,309
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	873	432	279	311
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		-	1,902	2,032	2,173	3,134
	充当可能特定歳入		-	5,975	5,946	5,716	5,533
	基準財政需要額算入見込額		-	26,721	27,209	27,536	27,793
(A) - (B)	将来負担比率の分子		-	12,286	10,054	8,480	7,774

分析欄

合併建設計画に基づく事業の実施により、地方債残高は増加しているが、合併特例債等の交付税算入のある有利な市債残高分の増加であり、充当基金の増加や第三セクターの経営改善とあわせて将来負担率の分子は減少傾向にある。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。